

議 事 録

会議名	令和5年度第2回寒川町自殺対策計画推進協議会		
開催日時	令和6年3月12日(火) 午前10時30分～11時10分		
開催場所	東分庁舎第3会議室		
出席者名、 欠席者名及び 傍聴者数	<p>&lt;協議会&gt;  出席者：桑原委員、佐藤委員、菅原委員、小西委員、森井委員、三留委員、野田委員、稲葉委員  欠席者：伊吹委員、大野委員、下川委員、守村委員、富樫委員、井上委員  事務局：菊地町民部長、尾畑町民窓口課長、三留町民窓口課副主幹、吉田町民窓口課主任主事  傍聴者：なし</p>		
議題	<p>(1) 令和6年度寒川町自殺対策事業実施計画について  (2) その他</p>		
決定事項	<p>・議事録承認委員は、輪番制。  今回は、佐藤委員及び菅原委員が務めることを確認。</p>		
公開又は 非公開の別	公開	非公開の場合 その理由（一部 非公開の場合を 含む）	
議事の経過	<p>1 開会 尾畑町民窓口課長</p> <p>2 あいさつ 稲葉会長</p> <p>3 議事録承認委員の指名 承認委員は輪番制。今回の承認委員は、佐藤委員及び菅原委員が務めることに決定する。</p> <p>4 議題 (1) 令和6年度寒川町自殺対策事業実施計画について、事務局より説明。</p> <p><b>【稲葉会長】</b>ありがとうございます。今、事務局のほうから幾つかの</p>		

ご報告をいただきました。少し分けてご質問をいただければと思いますが、プロフィールのところでご覧いただきまして、何かご質問等ございますでしょうか。よろしいですか。桑原先生、お願いします。

【桑原委員】今回、アンケートの実施をしていただきましたけれども、これは今の計画の中のどこかに入っていますか。

【事務局】アンケートは計画の中に入れておりません。

【桑原委員】これはとても大切なので、むしろ単年度ではなく、継続的にやることにより気づいたということがありましたよね。そういう意味では、ぜひ計画の中にアンケートを実施するというのを、どこが主管するかとかあるかもしれませんが、入れるだけでいいのかなと思いました。

【事務局】分かりました。ありがとうございます。

【稲葉会長】ありがとうございます。そうしますと、6年度の計画の部分までで今お話があって、今回のこの5年でやられたアンケートは前の計画にも載ってなかったということですよね。だけど、アンケートを取られたと。

【事務局】そうです。というのは、次期計画を7年度から改定するのですけれども、その参考とするためにアンケートを取りました。

【稲葉会長】ですので、今、桑原先生の言われるように、次期の計画にもこのアンケートの項目を入れておいたほうがよろしいのではないかというご意見でございますね。

【事務局】ありがとうございます。

【小西委員】では、私からよろしいでしょうか。

【稲葉会長】小西委員、お願いします。

【小西委員】本当にこのアンケートで何が原因で自殺になったかというのが一目で分かるし、また、ストレスを抱えやすい年代ということがこれで分かりますよね。30代、40代、会社、それからお子さん

も育てながらの悩みとか。それにコロナのときのアンケートを取ったということは、コロナのときに悪い影響がこんなにもあった、それですごく落ち込んで、収入もなくなる、孤独感を感じる、私たちは人とお話しする機会があるのですが、やはり独り暮らしの人というのは、そういうのから全てに対してやる気がなくなるというか、そこからすごく孤独感にさいなまれた自殺も見えてくるし、本当に桑原先生ご指摘のとおりで、続けていかれるといいと思います。その中から見えてくる、これから数年後また変化が出てくるかもしれないということです。

このモニターですが、今回は485名の方で回答されたのが268名ということで、これを続けていくことによって認知度も上がりますし、さらに回答してくださる方が増えれば、それはそれでいいことだと思いますので、ぜひ続けてください。よろしくお願いいたします。

【稲葉会長】ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。

【小西委員】すみません。この基本施策というのは、この自殺対策の推進確認シートのほうと両方ございますけれども、こちらは基本的に前年度と変わらないということですね。

【事務局】はい、そうです。

【小西委員】内容的にも。

【事務局】はい、内容も変わらないです。

【小西委員】分かりました。

【稲葉会長】私、社会福祉協議会でコロナの対策で生活困窮者の方々への貸付けを行ってきまして、一側面ではそのようなことでの生活困窮が見えてくるのですけれども、今日の学校の卒業式でも、学校関連、子供に関して言いますと、修学旅行に参加できないお子さんというのでも一定数いられるのですね。親の困窮という問題だけで見ているとそれだけなのですが、今度、子供の視点で見ると、修学旅行に行けなかった、これが今後、その後の成長にどう影響するのかというのはすごい気になります。いろいろな側面で見えないと、最後の自殺予防というところの最終の目的のためには、なかなか難しいだろうなということで、桑原先生が言われるように、いろいろな側面が見えるよう

なアンケートを今後も行っていく方がいいのではないかと思います。  
野田委員、いかがですか。

【野田委員】おっしゃるとおりで、続けたほうがいいのはもちろんだ  
と思います。私たちもいろいろ携わっていく中で、難しい問題があり、  
今、稲葉会長がおっしゃったように、そこで広がっていくものがある  
というのを実感して、手の出せるところと出せないところがあり、ど  
うやっていけばいいのかなというのがあります。本当にコロナは、病  
だけではなくて、いろいろなことに障害が起きてしまったのかなと思  
います。私たちの子供たちに頑張ってもらわないと、という気持ちは  
すごくあります。

でも、自殺の状況を見ると寒川は70代が多いです。私の場合は、  
まだ話を聞いてくれる人に話すということですごく楽になるので、本  
当にそういう話せる機会が増えていくといい、もっと楽に話をして、  
話に来てくれる人が増えてほしいと思います。

【小西委員】稲葉会長、いいですか。

【稲葉会長】はい。

【小西委員】先ほど学校のことをおっしゃっていたので、私はたまた  
ま、今、寒中の運営委員に携わっていて、その中で、寒中もそうです  
し、小学校もそうですが、必ずアンケートを取ります。保護者の目か  
ら、それからお子さん自身の目、そして先生目からというので、そ  
こから見えてくるのが面白くて。コロナのときと、今、コロナが2類  
から5類に移行してから変わった部分があったりします。いじめも、  
お子様がいじめと感じている部分と、親が感じている、先生が感じて  
いる分、それぞれ違うのですよ、その視点によって。だから、いじめ  
られているというふうを感じる本人、ご本人しか分からない部分がや  
はりあります。アンケートからそのようなことが見えてくる中で、先  
生たちは、それを基に新たにこのアンケートの内容を変えたり、有効  
に使えるというのも、このアンケートの力はばかにできないなとつく  
づく感じました。

【稲葉会長】ありがとうございます。そのほか、委員の皆様いかがで  
すか。では、桑原委員。

【桑原委員】今回は、本当に、ご意見がいろいろ出ましたけど、アン

ケートは非常に内容が充実しているといえますか、前回の計画の中に書いてあるものよりも項目が非常に多かったですね。前回に比べると、30代、40代の方の回答が多いです。どの程度周知されているかという質問で、ゲートキーパーのことを知らない人の割合が前回とあまり変わらなかったりしています。

それと、今回は女性の方の意見が結構きちんと入っていると思います。コロナ禍で深刻に感じたことというのが、全国の状況を見ると、健康問題が実は多いのですが、健康問題よりも家庭問題とか、それから経済・生活の問題、学校があるでしょう。併せて、御主人が仕事に行かないで、うちにいることでかえってごたごたしたり、とかいろいろあるわけですが、そういう結果が非常に如実に出ていていると思います。

もう一つはこのパッケージのデータの中でも年度別の変移を見ると、60歳、70歳の方がコロナになってから増えています。例えば、そういうことも含めて、この資料とこのアンケートの結果を突き合わせてみますと、いろいろなことがとてもよく分かります。

それから、会長がおっしゃった子供の問題ですね。全国的にも、女性の問題と、子供の自殺がこれから増えていくであろうということで、学校に期待する部分、あるいは女性をどう支援していくのかという部分ですよね。これが、今、大きな課題になってきていますけれども、これは、まさにそれを裏づけるようなデータなのです。

実施計画も、実際に拝見すると具体的にこういうことをやりますということが、令和6年度に書いてありますので、より充実化してきているとは思いますが、ぜひこの辺のことを盛り込んで、令和6年度の計画を見直していただければいいのかなと思いました。

もう一点。このeリサーチもそうですが、スマホですよ。スマホを使った情報の発信と、それから皆さんの意見の集約とか、こういったことをちょっと意識していかないといけない。私はスマホを使えないのですが、字が細かいし、何かあまりにも複雑過ぎて、パソコンと違ってすごく使いにくいのですけれども、若い人は、今スマホですよ。スマホを使った自殺支援のプログラムというのも実はたくさん出てきていますので、そういうことも視野に入れて広報活動というのを展開していくとよいと思います。

アンケートもやりっ放しじゃなくて、実はこういう結果でしたということを、自殺対策と併せて情報発信していくということが、時代の変化に応じた自殺対策のポイントの在り方ということに大きく影響してきますので、ぜひ、今、ここで出た意見も踏まえて、少し検討いただければなというふうに思います。

結果的には非常に今回のアンケートは充実していましたし、得るところの多い非常に有効なアンケートだったというふうに思います。

【稲葉会長】 どうもありがとうございます。

【事務局】 ありがとうございます。今、アンケートのことをいろいろお話いただいたのですが、うちのほうでも、このアンケートをきちんと分析して、解析して、今後の施策に生かさせていただきたいのと、あと、スマホのほうもうまく活用して、いろいろ情報発信とかができればと思っております。ありがとうございました。

【稲葉会長】 ありがとうございます。その他、委員の皆様からいかがでしょうか。よろしいですか。ありがとうございます。

それでは、委員の皆様からいただきましたご意見を踏まえまして、令和6年度はこの計画に基づいて進めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いをいたします。

では、引き続きまして、2、その他に移ります。

委員の皆様から何かございますでしょうか。その他、大丈夫ですか。桑原先生、お願いします。

【桑原委員】 私ばかり発言して申し訳ないのですが、自殺対策計画の改定が要求されていますよね。もちろん、今回こういった基礎データが追加されたので改定されるのでしょうかけれども、今後、改定の予定といたしますか、その辺のところはどうなるのでしょうか。

【事務局】 改定の予定は、計画期間が来年度6年度までになっておりますので、令和7年度以降の計画を来年1年間で皆様のご意見をお聞きしながら、作り上げていきたいというふうに考えております。

【稲葉会長】 ありがとうございます。そのほか、いかがですか。大丈夫ですか。委員の皆様からないようでしたら、事務局からございますか。

【事務局】 はい。それでは、皆様、ご審議ありがとうございました。事務局から1点ございます。令和6年度は、先ほど申し上げましたが次期計画の見直しを行う予定でございます。会議は3回を予定しておりますので、委員の皆様、どうぞよろしく願いいたします。

事務局からは以上になります。

	<p>【稲葉会長】ありがとうございます。7年度からの計画と、これは何年計画になりますか。</p> <p>【事務局】4年から6年かというあたりで、そのあたりも検討して何年と決めたいと思います。</p> <p>【稲葉会長】承知しました。その計画策定で、次年度3回の会議を予定されているということですね。ありがとうございます。</p> <p>今、事務局のほうから、その他がありました。皆様からご質問等ございますでしょうか。大丈夫ですか。</p> <p>【小西委員】このアンケートは持って帰ってよろしいんですね。</p> <p>【事務局】はい。アンケートはお持ち帰りいただいて大丈夫です。</p> <p>【稲葉会長】ありがとうございます。</p> <p>それでは、本日の議事は以上になりますので、進行のほうを事務局にお戻しさせていただきます。よろしく願いいたします。</p> <p>【事務局】稲葉会長、議事進行お疲れさまでございました。ありがとうございました。</p> <p>皆様、本日はお忙しい中お集まりいただきまして、貴重な御意見をいただきまして、感謝申し上げます。今後の寒川町の自殺対策推進に皆様のより一層の御協力をお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。</p> <p>5 閉会</p>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒川町自殺対策計画推進協議会 委員名簿</li> <li>・資料1 寒川町自殺対策計画進捗確認シート（基本施策）</li> <li>・資料2 寒川町自殺対策計画進捗確認シート（重点施策）</li> <li>・資料3 寒川町生きる支援の関連施策一覧</li> <li>・地域自殺実態プロフィール…会議終了後回収</li> <li>・生きることの包括的な支援に関するアンケート結果</li> </ul>
議事録承認 委員及び 議事録確定 年月日	<p>・佐藤委員 ・菅原委員</p> <p style="text-align: right;">（令和6年5月7日確定）</p>